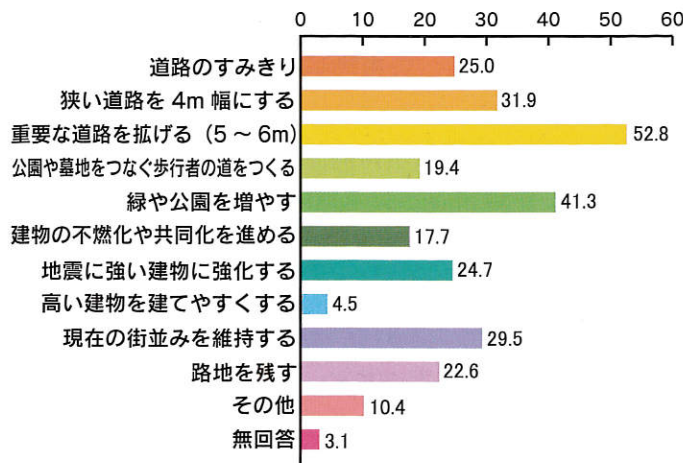


問10 まちづくりで大切なこと

重要な道路を拡げることや狭い道路など道に関することが多くあげられています。また緑や公園を増やすことも多くあげられています。現在の街並みを維持するという意見も多くなっています。



4つのまちづくり重点項目

今回のアンケートによって、地域のみなさんがこのまちを大事にしていることや、これから取り組むべき項目があきらかになりました。まちづくりの会では、以下の4項目を重点課題に、地区のまちづくり計画を検討していく予定です。

<災害に強いまちづくり> 首都直下の地震が切迫しているとされる今日、震災への備えは急務です。この地区では、様々な対策、例えば、建物の耐震補強、消火への備え、緑を増やす、隣近所の助け合いなどを重ねて、雑司が谷らしい災害に強いまちを実現することが重要です。

<道路の改善> この地区の道路については、幅員が狭く、行き止まりも多いので、災害時はもとより普段も消防車が入れないという問題と、一方、静かな環境を守っているのもこの道路という意見が寄せられました。この2つを両立する「みちづくり」を検討することが必要になっています。

会では、旧高田小につながる道路、弦巻通りなど大事な道路では、いずれはある程度の幅員を確保し、災害時にも避難者や緊急車両の通行ができる頼りになる道路にしたいという意見も出されています。ただし、道路の幅を確保するには様々な方法があります。電柱やすみ切りだけ改善する方法、区が用地を取得して短期間で拡幅する方法、建て替え時に後退していただき確保していく方法など今後検討していく予定です。

<街並みルール> 雑司が谷らしさを持続させるために街並みルールが必要という意向が示されました。

問11-1 まちのよいところ/大事にしたいもの

まちのよいところや大事にしたいものについて、自由に書いていただきました。大きく分類すると次のとおりでした。

- 緑豊か、静けさ 38
- 歴史・文化がある街並み 25
- 雑司が谷らしい昔ながらの風景、雰囲気 24
- 鬼子母神、雑司が谷霊園・おまつり 22
- 商店、商店街の雰囲気 16
- 旧高田小 15
- 都電とその風景 12
- 人、近所づきあい 9
- 公園 8
- 治安、その他 15

しかし、内容的には「理想的で望ましいルール」と「建て主の負担にならない範囲のルール」に割れています。当然のこととして、自分の家については悩む、内容次第という方も多いと思います。建て主に負担がなく、かつ、まちの環境も向上するような街並みルールを検討していくことが重要になっています。

<旧高田小の利用> 旧高田小には地域から大きな期待が寄せられました。区では、現在の旧校舎は耐震が不十分で、仮に補強するには巨額がかかり、公共施設として維持するのは困難と説明しています。しかし地域にとっては、今まで同様、災害時には地域の防災活動の拠点となる大事な場所です。防災に役立ち、地域のコミュニティを育む観点から、新しい公園づくりのあり方を、道路の問題とあわせて検討していくことになります。

まちづくりの会では、引き続き平成23年度以降も以上の4点を中心に学習や協議を行っていきます。その中で、懇談会を開催したり、個別アンケートなどをお願いする予定です。その節は是非ご協力いただきますようお願いする次第です。

ご意見をお寄せください

雑司が谷二丁目地区のまちづくりにご意見がある方、会に参加を希望される方は、以下までご連絡をお願いします。

宛先：池袋南地区まちづくりの会事務局
 豊島区雑司が谷2-22-17 雑司が谷二丁目町会事務所内
 電話・FAX 03-3378-1960
 Eメール jinyoshi@arion.ocn.ne.jp

※地域の方からアンケートの紙質・カラーが贅沢というご意見をいただきました。印刷は最も低コストな印刷にしていますのでご了承ください。

まちづくりニュース
 2011・6
 通算72号

ぞうしがや

- 企画/発行 池袋南地区まちづくりの会 会長：広瀬 勝
- 協力 地元各町会
- 編集協力 吉川仁/小野加瑞輝

雑司が谷二丁目は静かで住みよいまち、防災面では不安が...

まちづくりアンケートの結果をお知らせします

池袋南地区まちづくりの会では、平成22年度に国から助成をうけて、雑司が谷二丁目のまちのあり方について基礎調査を行いました。その一環として、昨年、雑司が谷二丁目と弦巻通りに面する方々にアンケートをお願いしました。調査には多くの方々にご協力をいただきました。この誌面を借りて厚くお礼申し上げます。

調査の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。今後も地域の方々の想いを反映したまちづくり計画の提案づくりを進めていく予定です。率直なご意見をお寄せください。

●雑司が谷二丁目アンケート調査
 実施期間：平成22年11月15日～12月10日 配布数：2084 (弦巻通り通り沿い含む)
 直接全戸に直接配布/郵送回収(無記名)
 回答数：288件 回答率：13.8%

問1 まちの住環境

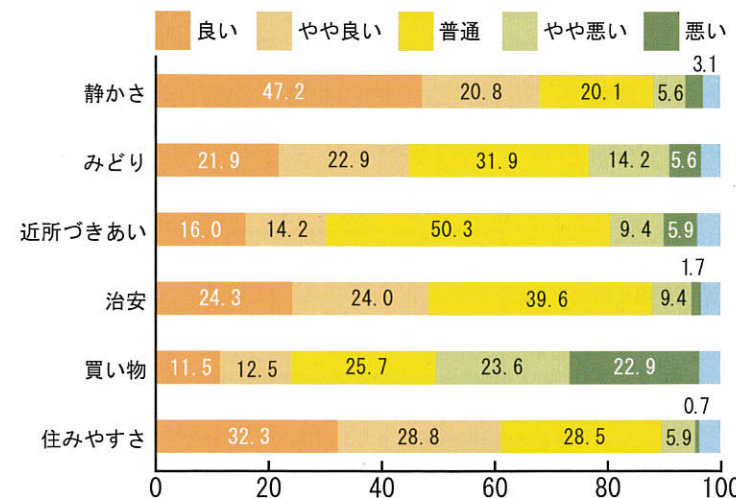
まちの住環境について、6つの項目を5段階で評価を伺いました。

多くの方から良いという評価を得たのは、「静かさ」(良い・やや良いを合わせて68%)と「住みやすさ」(同61%)です。まち全体としては、静かで住みやすいまちという評価をされています。

また、「みどり」と「治安」もそれぞれ半数近くの方が良い評価を得ており、住みやすさの大きな要因になっているようです。治安が悪い・やや悪いとお答えの方は11%と低いのも特徴で、安心で快適な環境であるという傾向が見られます。

一方、「近所づきあい」は良い・やや良いという方は30%にとどまり、普通が50%にもなっています。近所づきあいが少なくなっている様子が見られます。

評価が低かったのは「買い物」です。悪い・やや悪いとされる方が46.5%で、近くに大きいお店が少ないと感じている方が多いようです。



合同防災訓練にご参加を

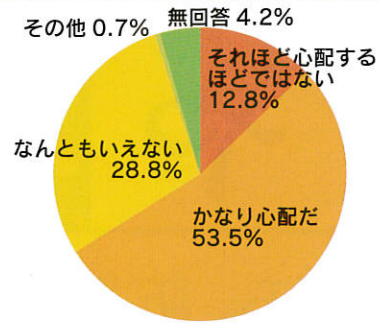
旧高田小を救援センターとしている7町会合同の防災訓練が行われます。ご家族で、また隣近所お誘い合わせてご参加下さい。

日時 平成23年6月12日(日) 午前9時～11時半

- 地域訓練 午前9時 地域集合場所に集合 (雑司が谷二丁目町会は雑司が谷公園) 初動対応訓練・避難訓練
- 合同訓練 旧高田小に移動 避難者受入訓練 救援センター運営訓練など

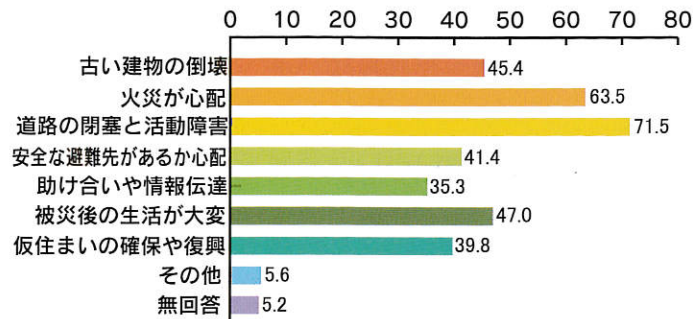
問2-1 地震の被害

昨年の調査段階では、大地震が起こった時の被害について、54%の方が「かなり心配だ」とされています



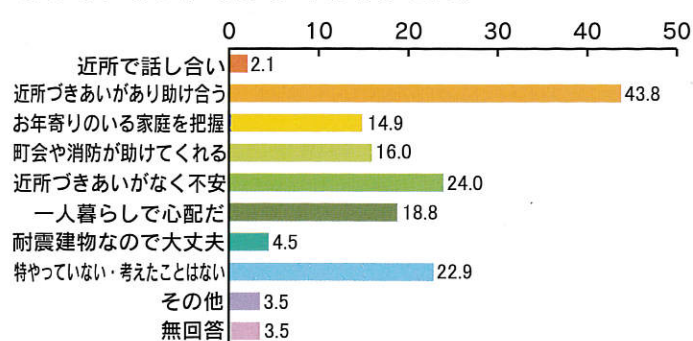
問2-2 地震の時に心配なこと

地震被害のうち特に心配なことは、「道路が塞がれて活動に障害がでる」、次いで「火災」や「被災後の生活」となっています。



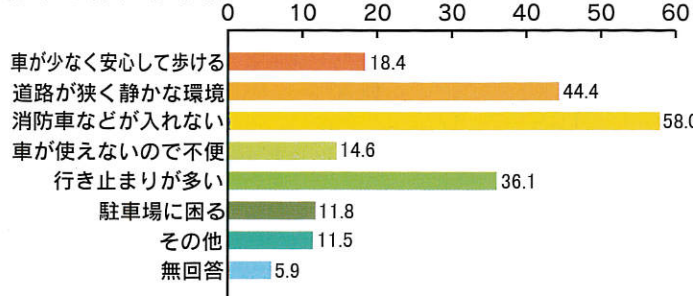
問3 災害時の隣近所の協力

44%の方が、「近所づきあいがあるので助け合う」とされています。一方、「不安」「一人暮らし」「何もしていない」も少なくありません。



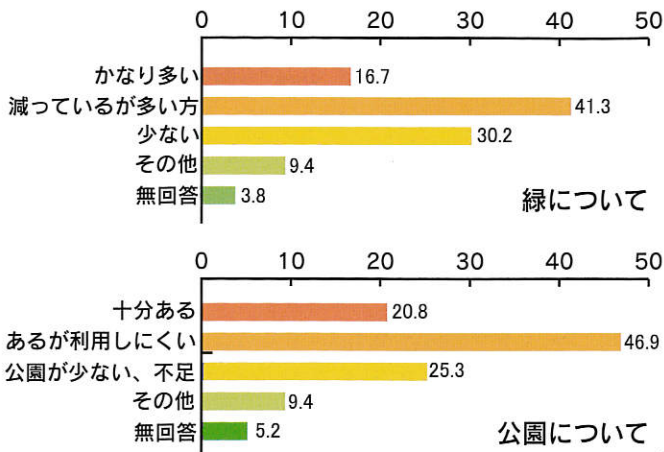
問4 雑司が谷二丁目の道路

消防車などが入れないことを心配している方が58%。一方、道路が狭いので静かな環境になっていると評価する方が44%もいます。行き止まりが多いという指摘も36%になっています。災害の問題は気になるが、静かな環境も気に入っているという傾向がうかがえます。



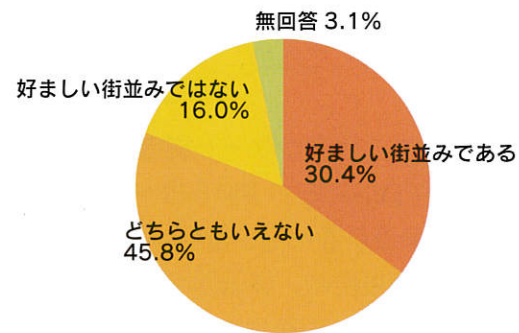
問5 雑司が谷二丁目の公園と緑

緑が多い・かなり多いという方は合わせて58%。一方、少ないという方も30%に達しています。都心に近い割に緑が多いという評価です。公園については、「あるが利用しにくい」という方が47%で、公園のあり方を見直す必要があるかもしれません。



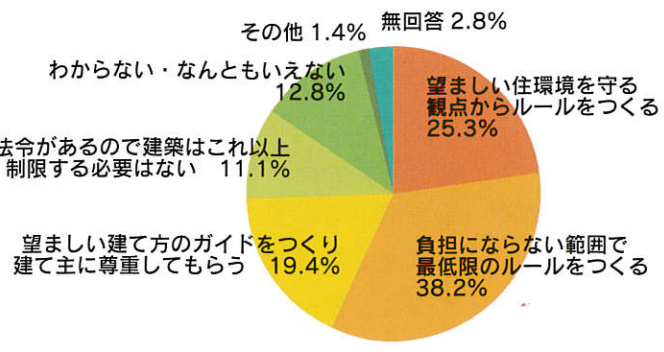
問6 雑司が谷二丁目の街並み

好ましいとする方が30%いらっしゃる反面、どちらともいえないという方も46%にもなっています。



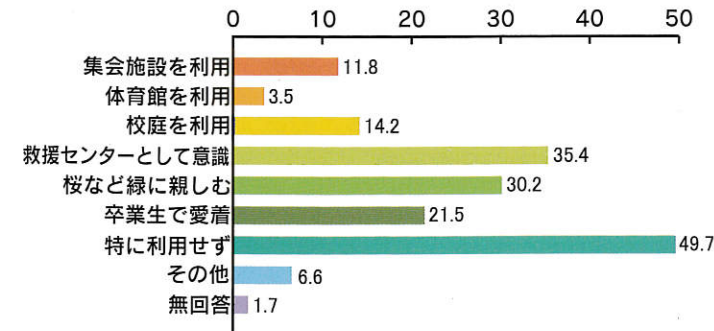
問7 街並みのためのルール

「ルールづくり」が必要とされる方は合わせて83%で、住環境や街並みを守りたいという意識が高いことが伺えます。内容はまちまちで、「負担にならない範囲で最低限のルール」最も多く38%。次いで「望ましい住環境を守る観点からルールをつくる」25.3%です。一方、「これ以上制限する必要はない」という方は11%でした。



問8 旧高田小の利用

利用していないという方が約半数いらっしゃいます。しかし、救援センターとして意識している方(35%)や桜などに親しむ方(30%)と、施設を利用しないが意識している方が多くなっています。



問11-2 問題とと思うところ・改善したいところ

地図に記入されたところは以下のとおりです。すぐに改善できそうなところありますが、まちづくりとしてきちんと取り組まなければならないご指摘もたくさんあります。

